



世田谷区誌研究会 会 報

令和 7 年 1 月号

NO46

編集人 野岸敏雄
天海敏彦

連絡先: kushiken0817@yahoo.co.jp

ホームページ: <https://setagaya-kushiken.jimdofree.com/>

世田谷区誌研究会 令和7年 年頭の挨拶

昭和25年、郷土を愛する有志により設立された世田谷区誌研究会は、今年、創立75周年という節目を迎えます。世田谷の歴史・文化遺産の調査研究に尽力され、地域に根ざした活動を行ってこられた先輩諸氏の貴重な成果は、機関誌「せたがい」72号まで積み重ねられています。

昨年は、能登半島地震で1月1日に発生しました。新型コロナウイルスの感染拡大は収束に向かい、社会活動が徐々に再開されて外国人観光客もコロナ以前の水準に達する一方で、ロシアによるウクライナ侵攻という未曾有の事態が発生し、世界は大きな転換期を迎えています。スポーツ界においても、大谷翔平選手の活躍は、世界中の人々に感動と勇気を与え、新たな歴史を刻みました。このような激動の時代だからこそ、郷土の歴史や文化を深く理解し、未来へと繋いでいくことの重要性が改めて認識されています。



会員募集
ご紹介ください

世田谷には、砧公園をはじめ豊かな自然と、国分寺崖線に点在する古墳群や世田谷城など、歴史深い史跡、成城など閑静な住宅地が、そして下北沢・三軒茶屋・二子玉川などの商業地と90万人以上が住む、多様な地域が共存する魅力あふれる街です。この豊かな自然と歴史と文化を後世に継承し伝えとともに、この世田谷の昭和・平成そして令和の姿を体験した我々世代が語り継いでいくことが郷土史会の一つの使命でないでしょうか。しかし昨年は「せたがい」の発刊が叶いませんでした。新聞・雑誌などの活字による情報発信は衰退し、SNSによる情報発信が主流となってきました。、当会でも、令和2年よりホームページを再開し、世田谷に関するユーチューブの紹介などしております。メール(一部郵便)会報は本号で46号までと、会員の皆様のご協力により、情報発信を続けておりますが、残念ながら当会の会員は、退会する会員が入会者より多く減少を続けているのが現状です。当会も50年以上新規会員の募集は高齢者を中心でしたが郷土史を次代に語り継ぐには若い世代の参加について皆様の忌憚のないご意見をお寄せください。

郷土史を語り継ぐ「せたがい73号」の発刊に向て、皆様の一層のご支援を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

本年も、会員皆様が健康で、より一層充実した年となりますようお祈り申し上げます。

世田谷区誌研究会 会長 野岸敏雄